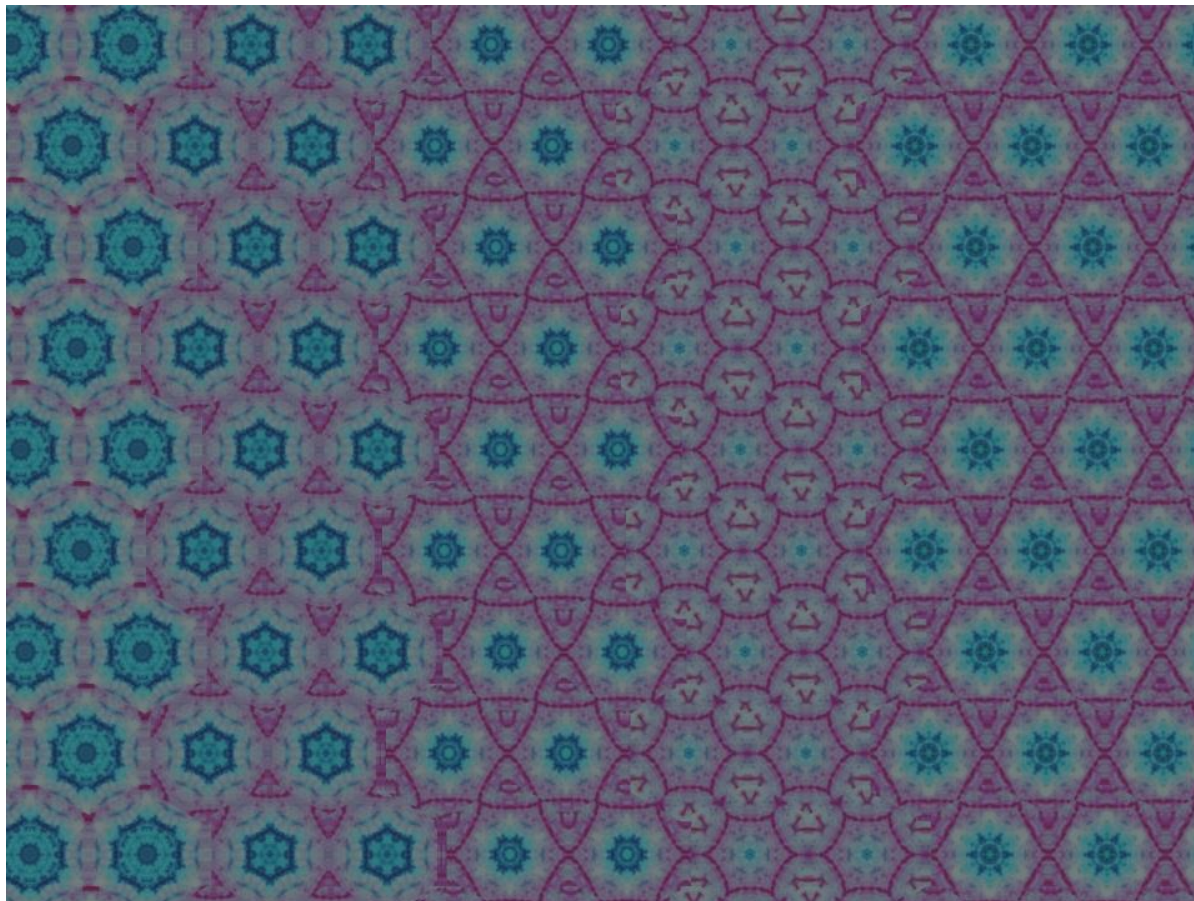


改訂2 2017年12月10日

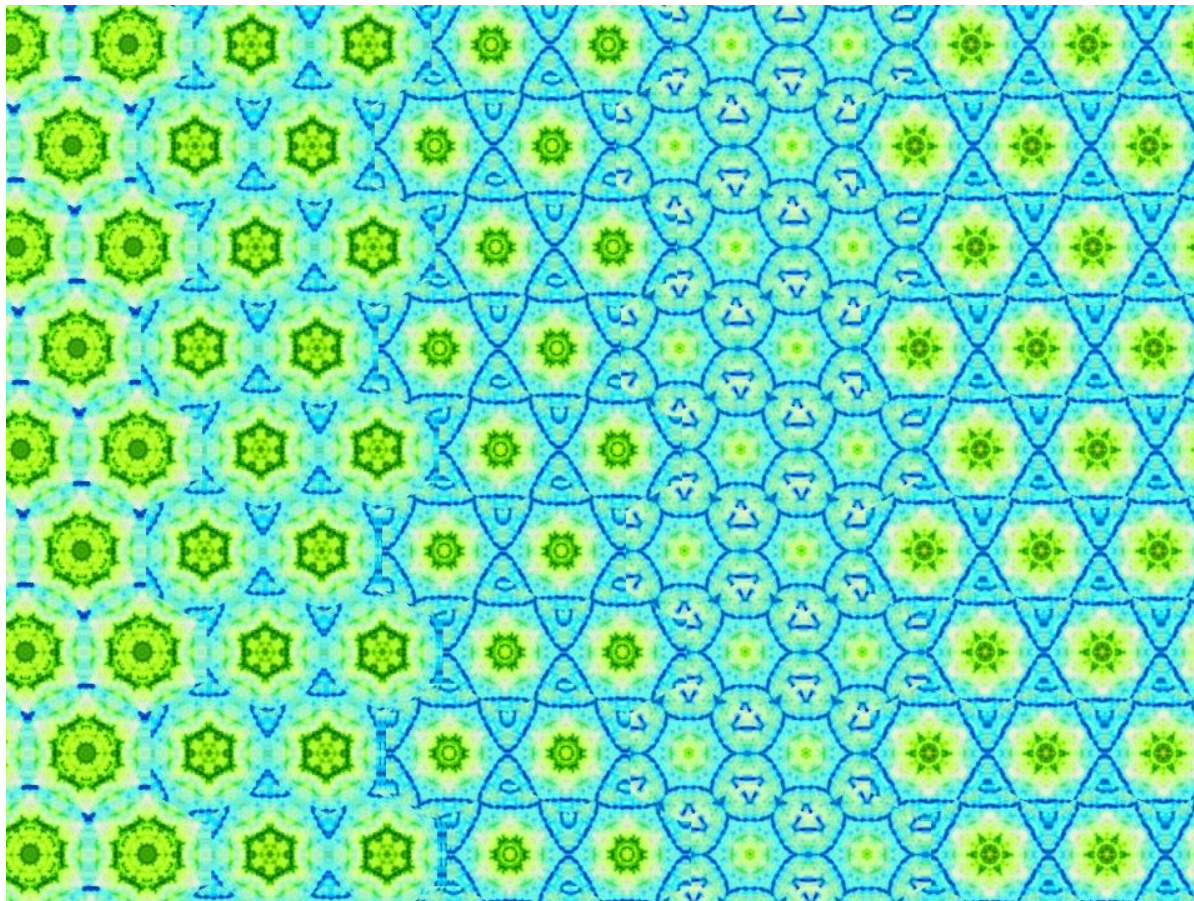
チャレンジドコンサート 「森のふしぎなこえ」 台本

シーホースサロン



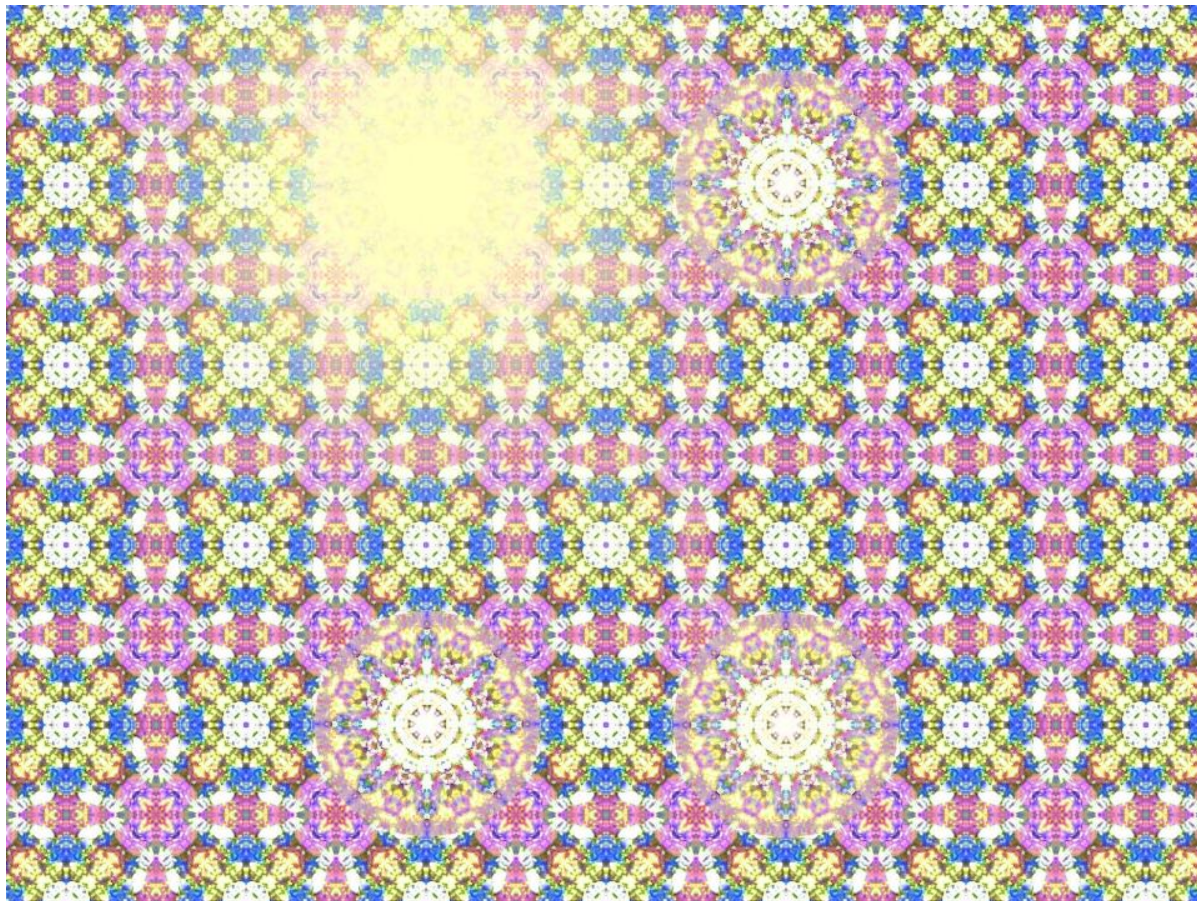
前奏曲 ①

1. CD再生「M1」start。夜明けのイメージ。
2. ハピドラム小(和田)start。
3. シンギングボウル(高島)start。ごく小さな音から徐々に大きく。ゆっくりと。
4. フットパーカッション(西岡)start。小枝のざわめきのように。
5. ダントルン(和田)start。
かつこう笛(遠藤)start。どちらも鳥のさえずりのように。
6. ティンシャ(杉坂)start。しずくが水面に波紋を描くイメージで。



前奏曲 ②

1. チューバフォン（遠藤）start。風鈴が歌うようなイメージで。
2. 竹カリンバ（丸岡Y）start。
3. パイプベース（岩井）start。遠くの雷鳴がかすかに聞こえるイメージ。



前奏曲 ③

7. 不吉の予感。嵐が接近。

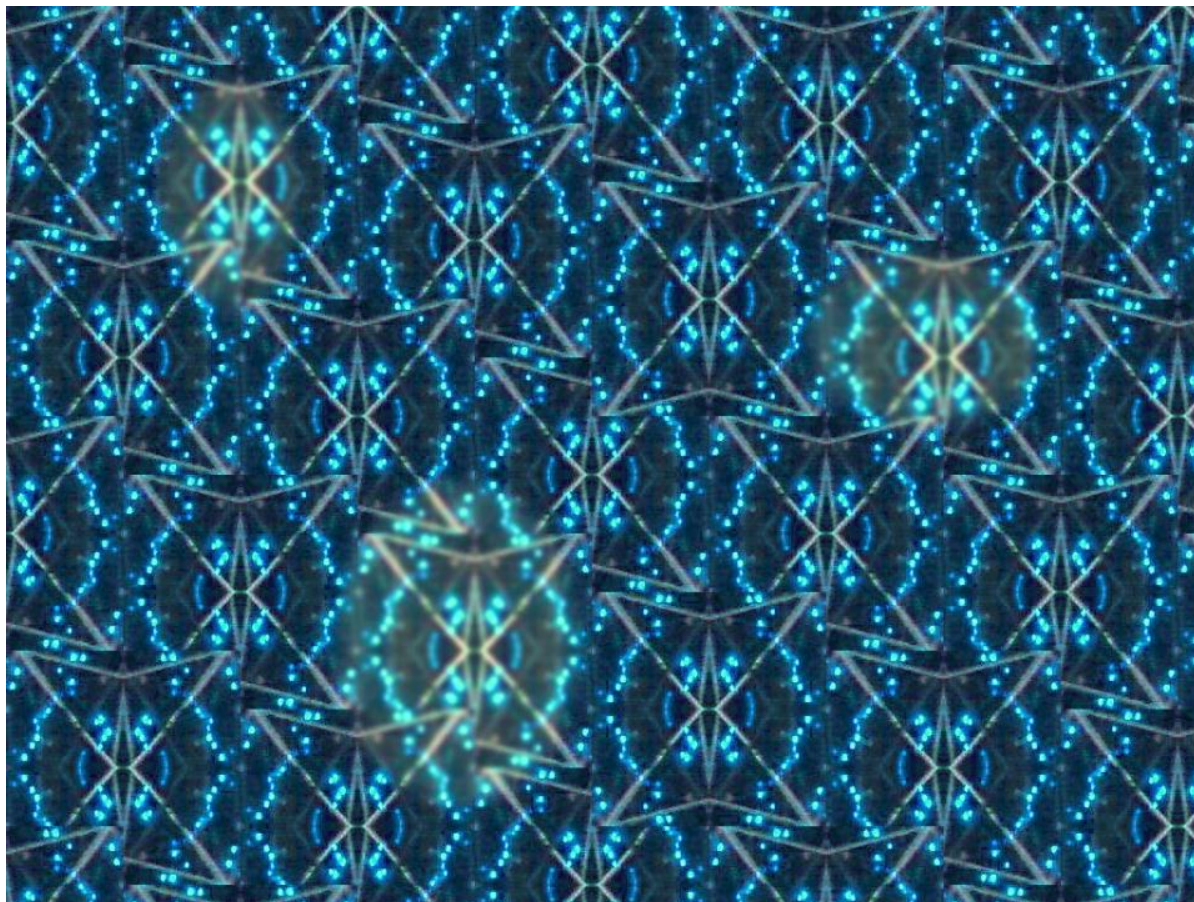
管弦楽オーケストラをバックに、

シンバルを指示通りに。(島村)。

サンダードラムを激しく。(丸岡P)

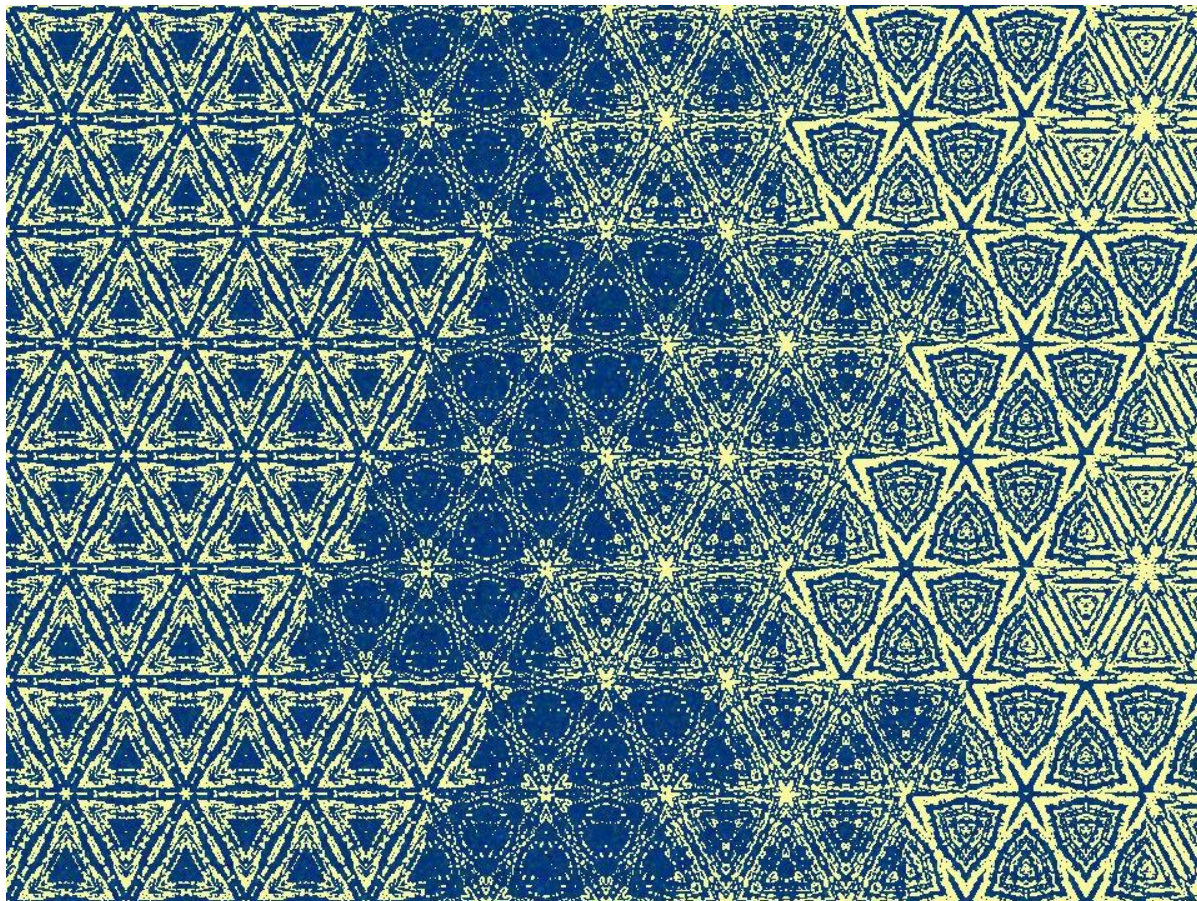
フットパーカッションも参戦。(西岡)





前奏曲 ④

1. 嵐が去ってゆく。徐々に静かに。
2. 音が消えたところで転換のゴピチャンド（上脇）

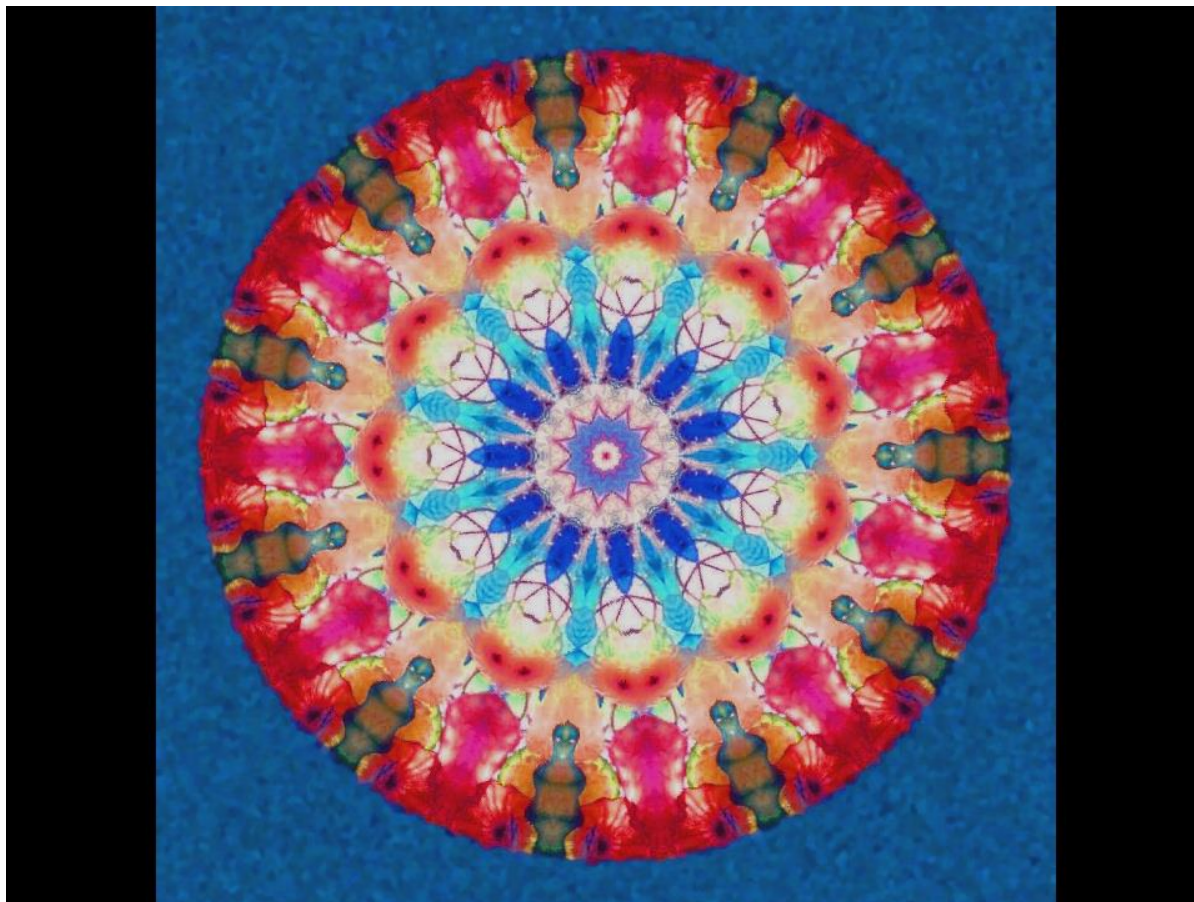


前奏曲 ①

パイプドラム。 度プレイ。岩井

ハピドラム。 度プレイ。(和田)

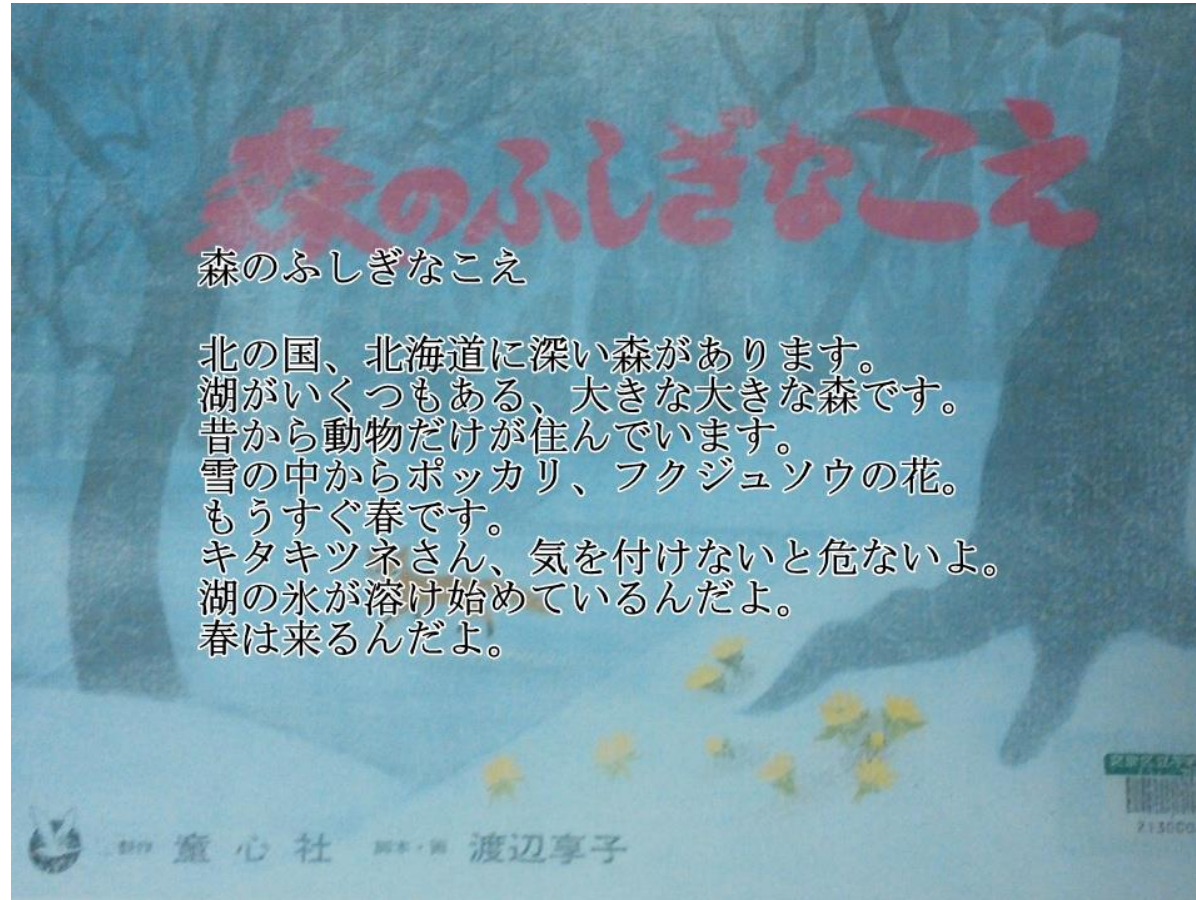
盛り上がったところでフットパーカッション。西岡



前奏曲 ②

前奏曲の終了後、ナレーションへの転換。

ゴピチャンド（上脇）

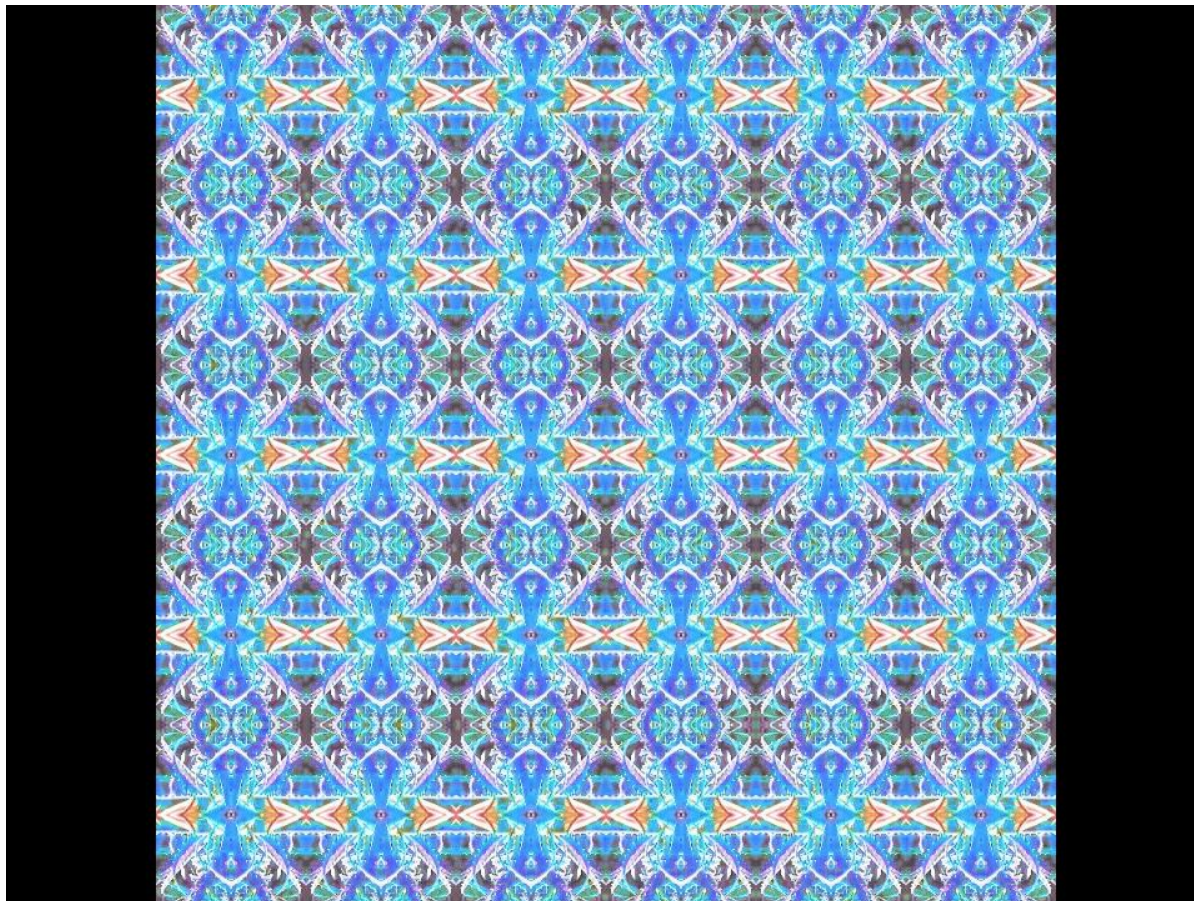


語り①

BGM、効果音なし。

「春は来るんだよ」を転換のゴピチャンド（上脇）。

CD再生「M2」



間奏曲 ①

フットパーカッションを風鈴のようなイメージで。西岡

ダントルンを控えめに絡ませる(和田)

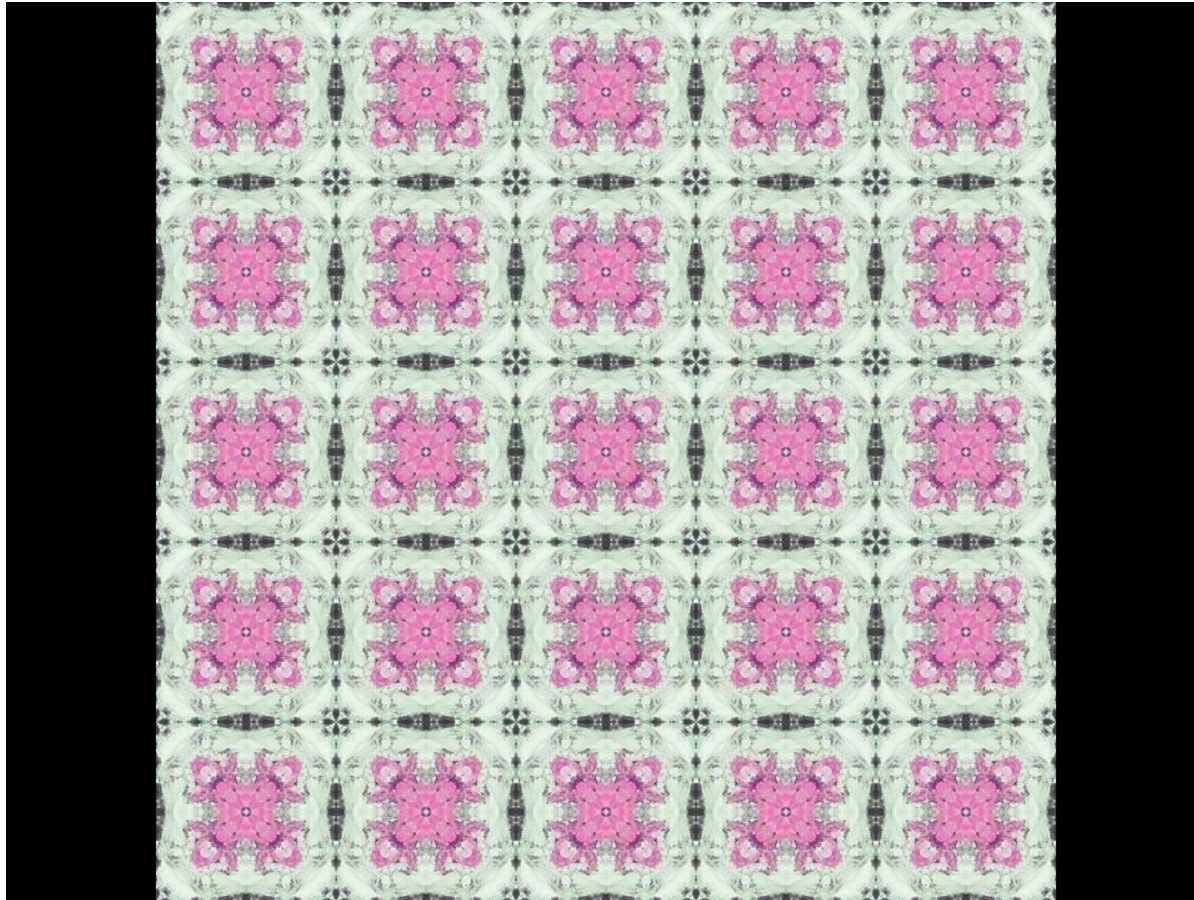
指示部分でティンシャを鳴らす。杉坂

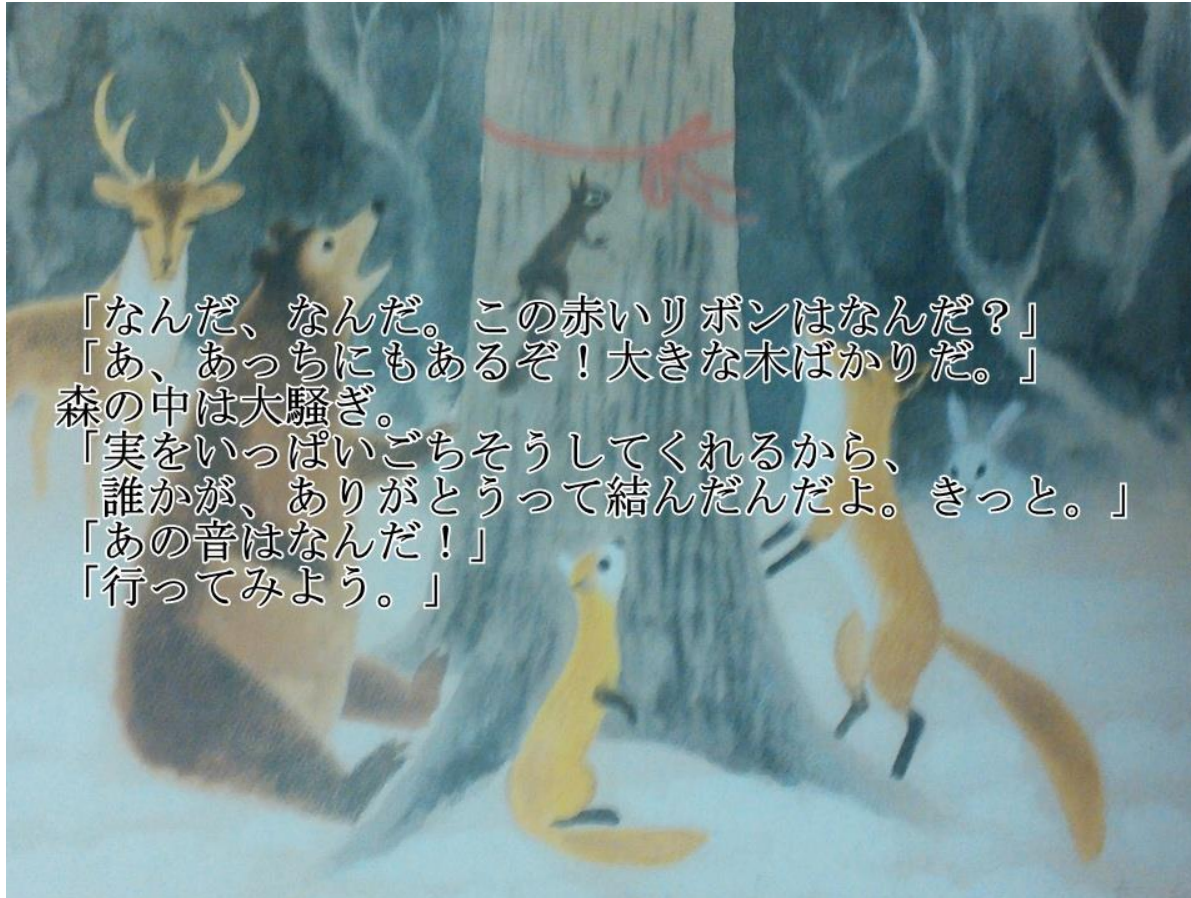
転換のゴピチャンド（上脇）



間奏曲 ②

音が消えたら転換のゴピチャンド （上脇）



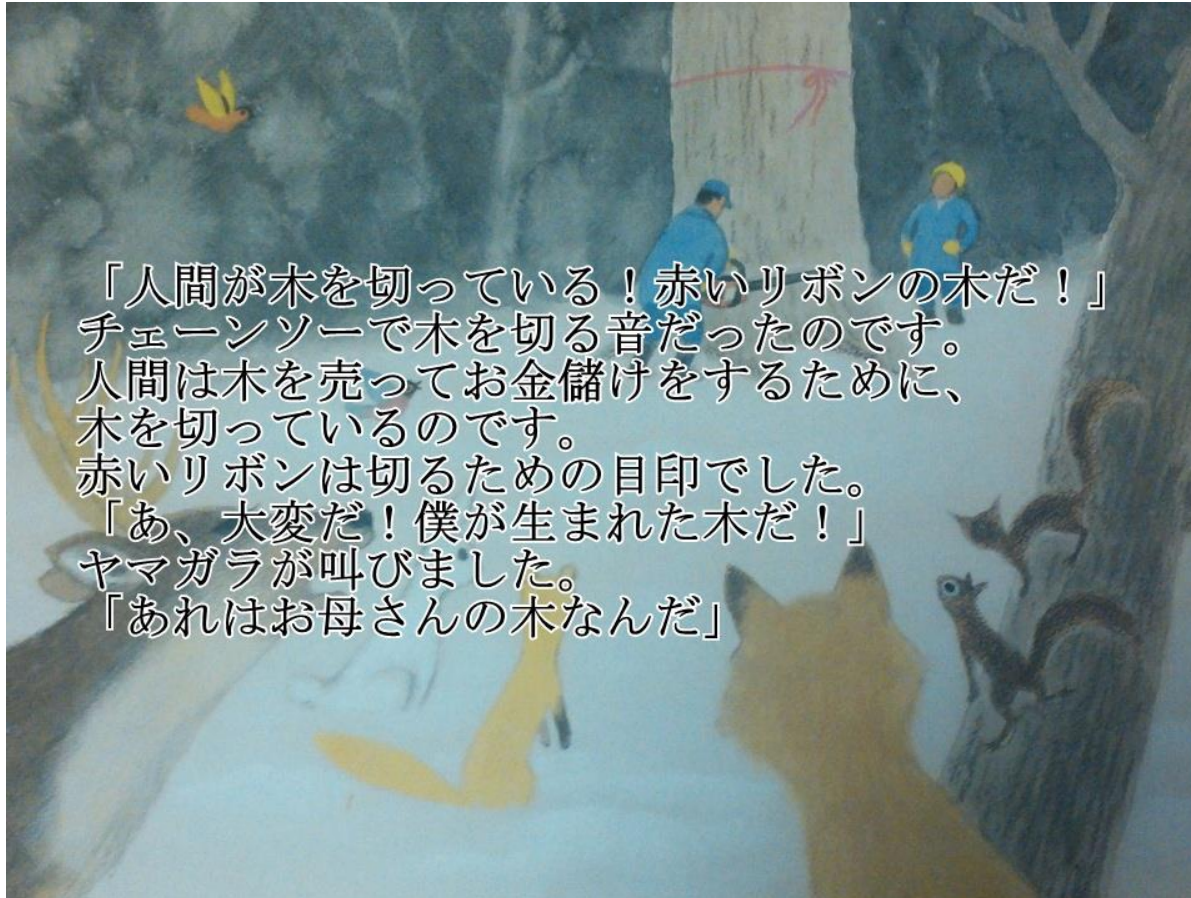


「なんだ、なんだ。この赤いリボンはなんだ？」
「あ、あっちにもあるぞ！大きな木ばかりだ。」
森の中は大騒ぎ。
「実をいっぱいごちそうしてくれるから、
誰かが、ありがとうって結んだんだよ。きっと。」
「あの音はなんだ！」
「行ってみよう。」

語り②

「・・・結んだんだよ、きっと」のあとにパチパチを
振り回す。（島村）

「行ってみよう」を受けて転換のゴピチャンド（上
脇）

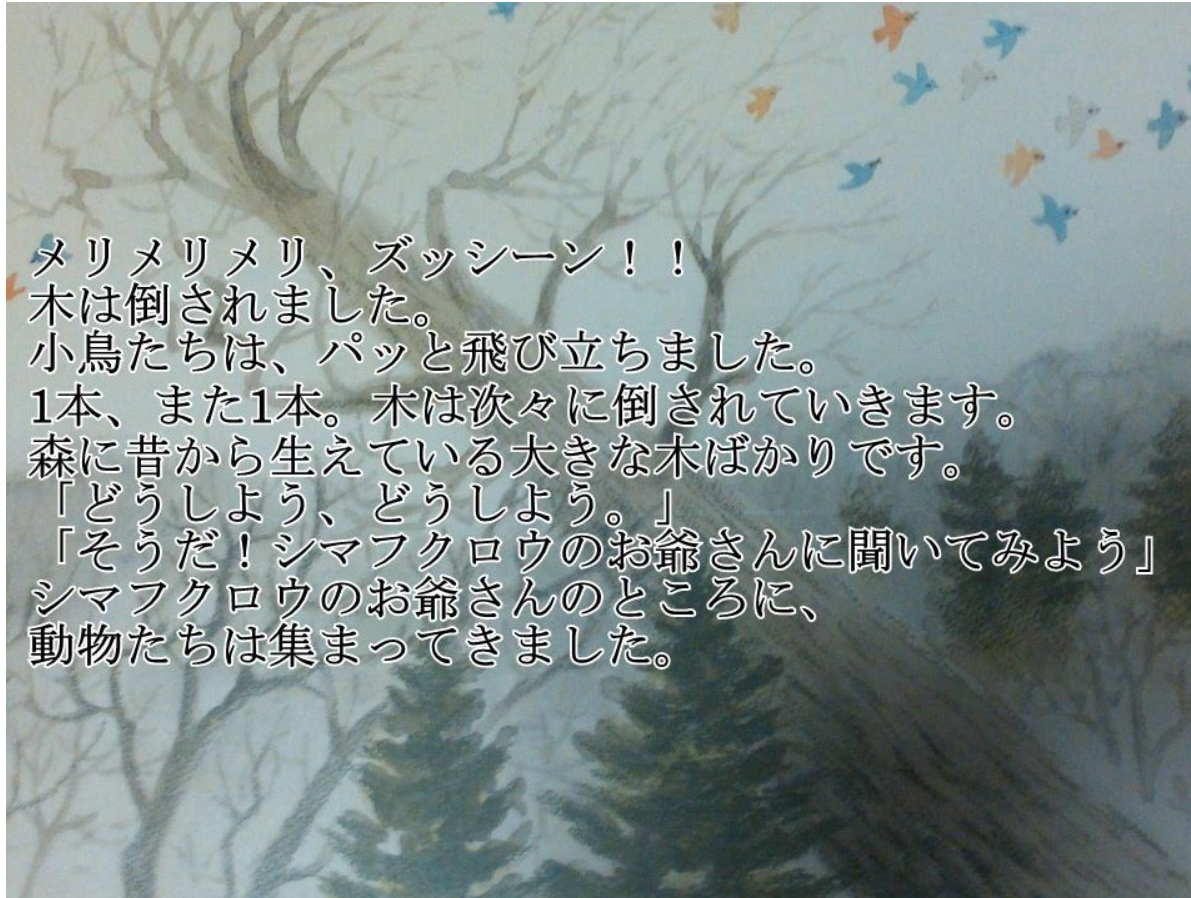


「人間が木を切っている！赤いリボンの木だ！」
チェーンソーで木を切る音だったのです。
人間は木を売ってお金儲けをするために、
木を切っているのです。
赤いリボンは切るための目印でした。
「あ、大変だ！僕が生まれた木だ！」
ヤマガラが叫びました。
「あれはお母さんの木なんだ」

語り③

「あ、大変だ、僕が生まれた木だ」を受けてナベブ
タを「パーン」と一発。（島村）

「あれはお母さんの木なんだ」 を受けて転換
のゴピチャンド（上脇）

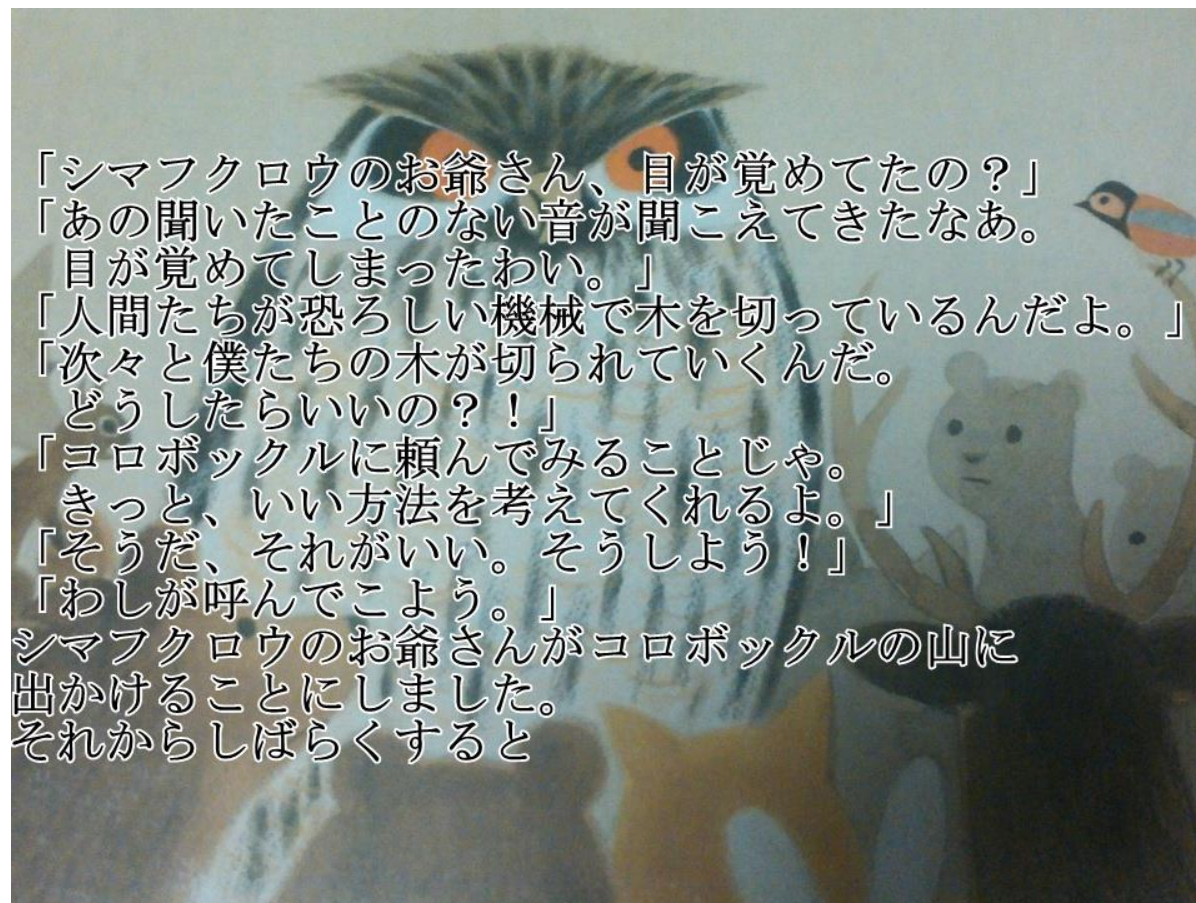


メリメリメリ、ズッシーン！！
木は倒されました。
小鳥たちは、パッと飛び立ちました。
1本、また1本。木は次々に倒されていきます。
森に昔から生えている大きな木ばかりです。
「どうしよう、どうしよう。」
「そうだ！シマフクロウのお爺さんに聞いてみよう」
シマフクロウのお爺さんのところに、
動物たちは集まってきました。

語り④

ナベブタを10回打ち鳴らす、速度と強弱に変化をつけて、けたたましく。（島村）

「動物たちは集まってきました」 を受けて転換のゴピチャンド（上脇）



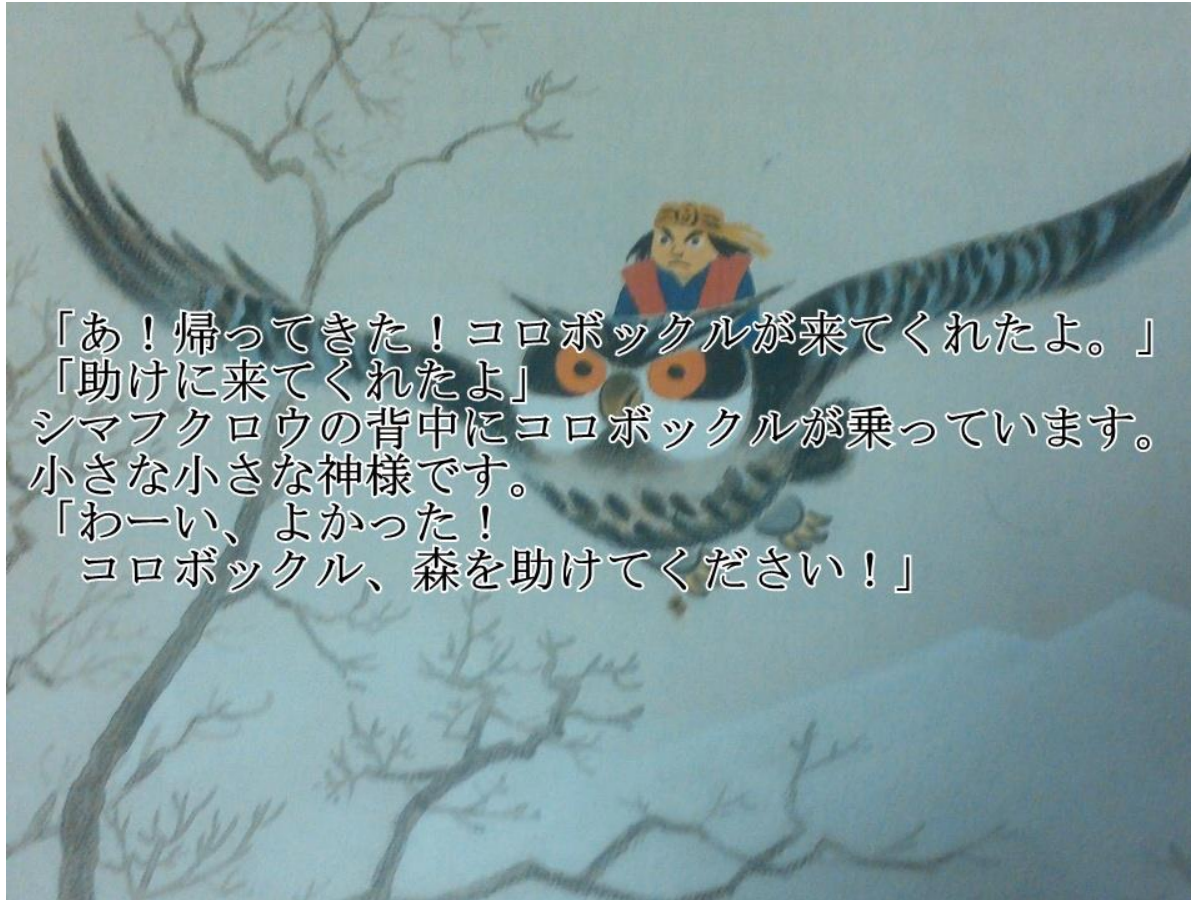
「シマフクロウのお爺さん、目が覚めてたの？」
「あの聞いたことのない音が聞こえてきたなあ。
目が覚めてしまったわい。」
「人間たちが恐ろしい機械で木を切っているんだよ。」
「次々と僕たちの木が切られていくんだ。
どうしたらいいの?!」
「コロボックルに頼んでみることにじゃ。
きっと、いい方法を考えてくれるよ。」
「そうだ、それがいい。そうしよう!」
「わしが呼んでこよう。」
シマフクロウのお爺さんがコロボックルの山に
出かけることにしました。
それからしばらくすると

語り⑤

「動物たちは集まってきました」 を受けて転換
のゴピチャンド（上脇）

「コロボックルに頼んでみることにじゃ」を受けて
ティンシャを1発 （杉坂）

「それからしばらくすると」 を受けて転換
のゴピチャンド（上脇）



「あ！帰ってきた！コロボックルが来てくれたよ。」
「助けに来てくれたよ」
シマフクロウの背中にコロボックルが乗っています。
小さな小さな神様です。
「わーい、よかった！
コロボックル、森を助けてください！」

語り⑥

「森を助けてください」
のゴピチャンド（上脇）

を受けて転換



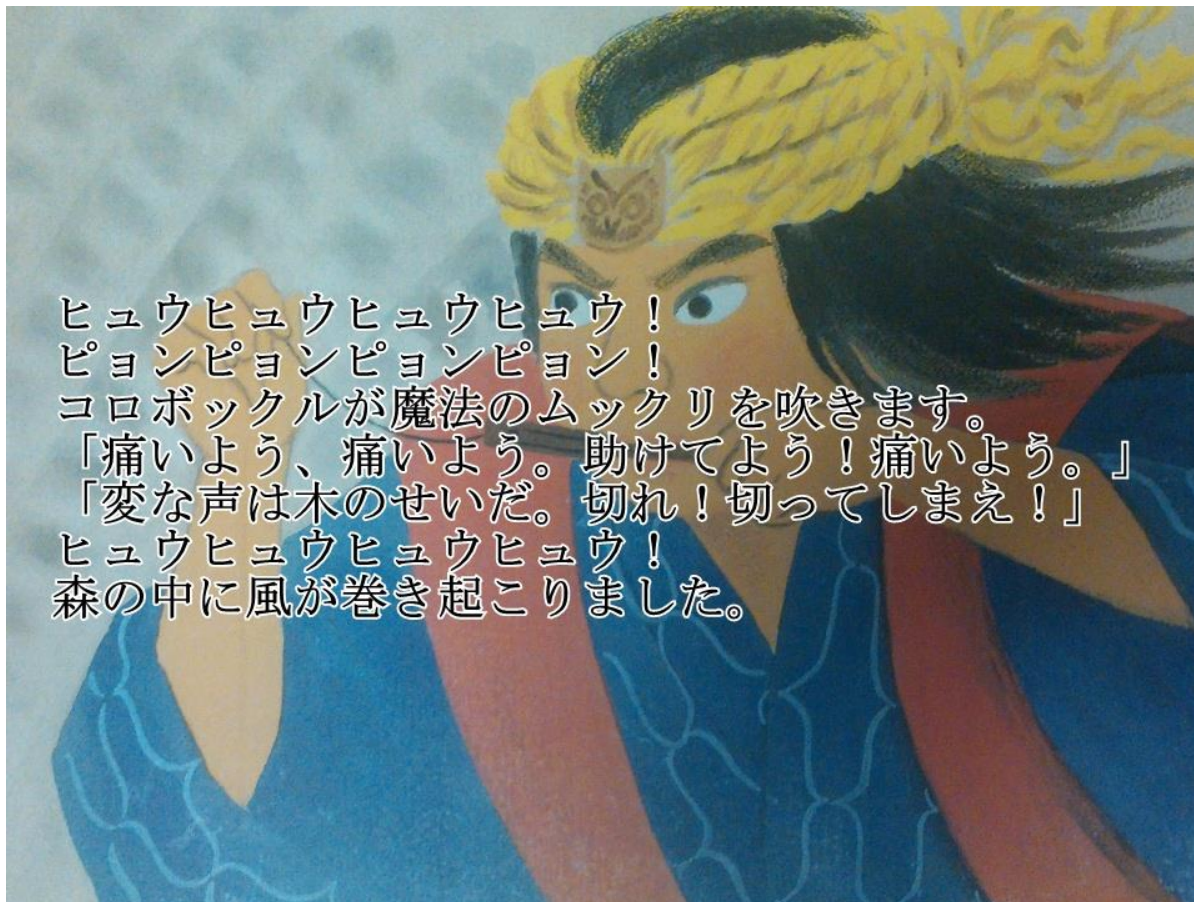
間奏曲

語りなしの即興演奏フルス（倉持）、ナベブタシン
バル（島村）、

サンダードラム、口琴（丸岡P）

音が消えたら転換のゴピチャンド（上脇）





ヒュウヒュウヒュウヒュウ！
ピョンピョンピョンピョン！
コロボックルが魔法のムックリを吹きます。
「痛いよう、痛いよう。助けてよう！痛いよう。」
「変な声は木のせいだ。切れ！切ってしまえ！」
ヒュウヒュウヒュウヒュウ！
森の中に風が巻き起こりました。

語り⑦

口琴を鳴らし続ける（丸岡P）

「風が巻き起こりました」

を受けて転

換のゴピチャンド（上脇）

語り⑧

口琴を鳴らし続ける（丸岡P）

「助けてくれ」
のゴピチャンド（上脇）

を受けて転換





人間たちはころがりながら逃げていきました。

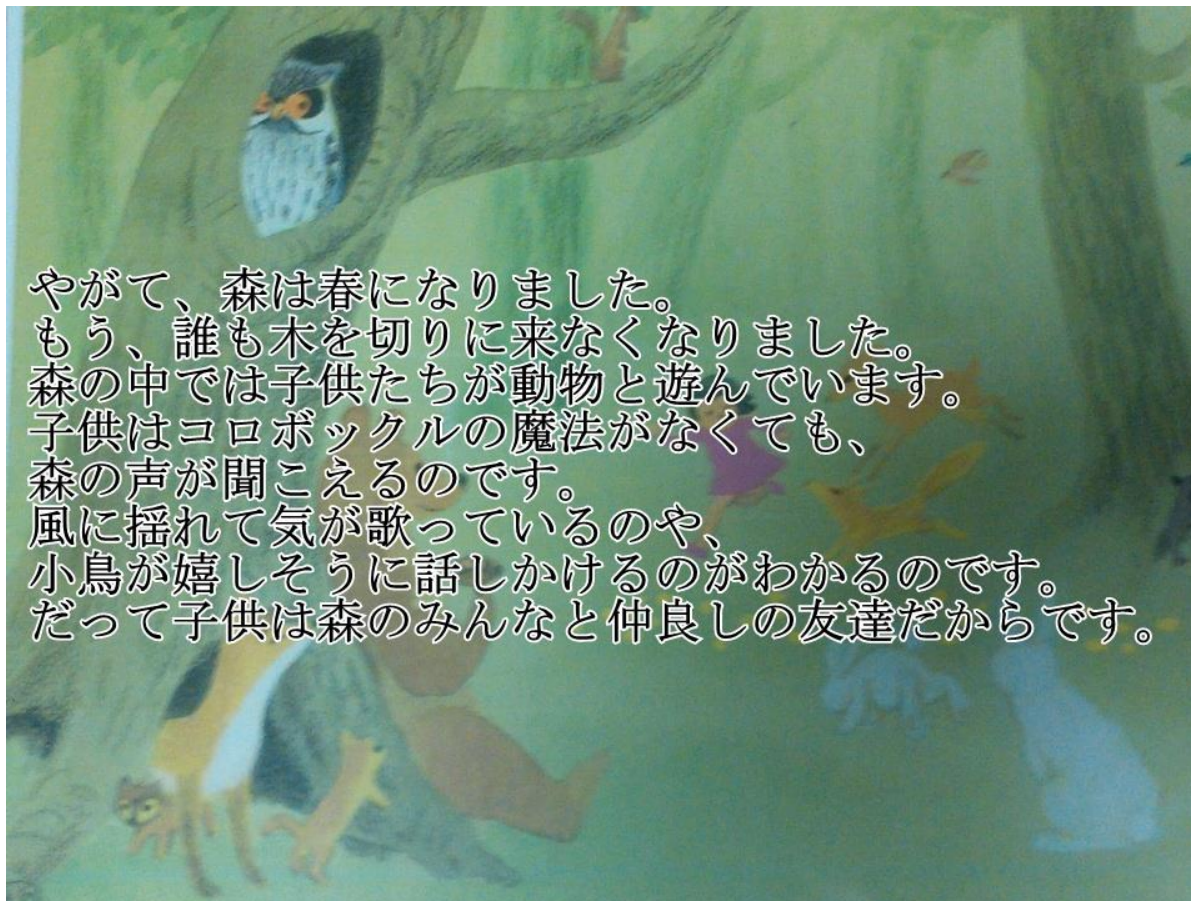
語り⑨

「逃げていきました」
て転換のゴピチャンド（上脇）

を受け

CD「M4」再生。





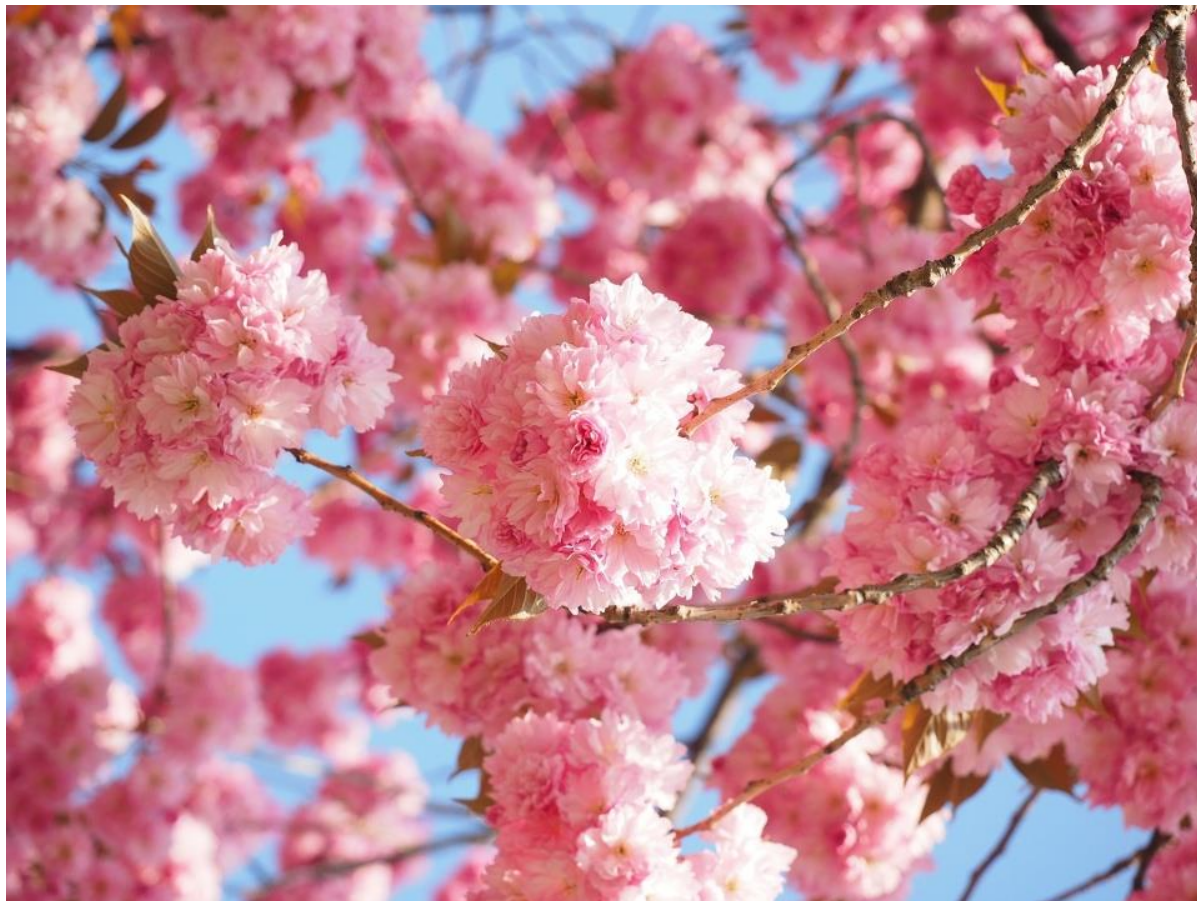
やがて、森は春になりました。
もう、誰も木を切りに来なくなりました。
森の中では子供たちが動物と遊んでいます。
子供はコロボックルの魔法がなくても、
森の声が聞こえるのです。
風に揺れて気が歌っているのや、
小鳥が嬉しそうに話しかけるのがわかるのです。
だって子供は森のみんなと仲良しの友達だからです。

語り⑩

「仲良しの友達だからです」

を受けて転換のゴピチャンド（上脇）

CD「M5」再生

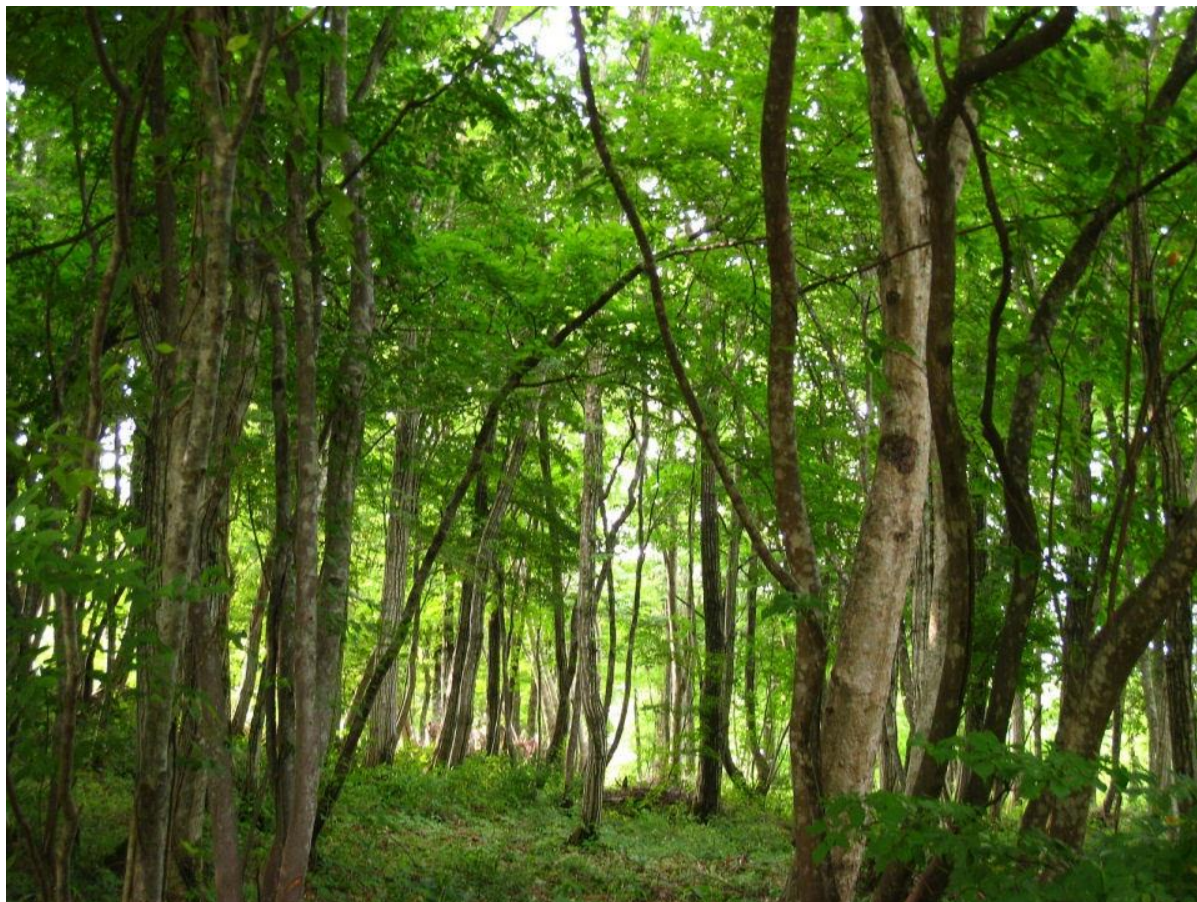


間奏曲③

ブラームスのワルツ演奏

ドゥドゥク（倉持）





エピローグ

カエルのうた

みんなで楽しく即興





「悲劇の森の序曲」 鞍持勇紀





「コリウスの宴」

鞍持勇紀

